

事業群評価調書(令和3年度実施)

基本戦略名	3-3 安全安心で快適な地域を創る	事業群主管所属・課(室)長名	県民生活環境部 地域環境課	重野 哲
施策名	4 豊かできれいな海づくり、くらしやすい環境づくりの推進	事業群関係課(室)	諫早湾干拓課、水環境対策課	
事業群名	① 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	令和2年度事業費(千円)	※下記「2. 令和2年度取組実績」の事業費(R2実績)の合計額 377,757	

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
閉鎖性の強い海域である大村湾の環境保全と活性化を図るため、流入負荷抑制対策、生物多様性の保全及び流域住民の親水意識醸成等に取り組みます。 また、諫早湾干拓調整池の水質改善のため、流入負荷削減対策など、国、県、市の関係機関で連携して取り組みます。		i) 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善 ii) 大村湾周辺の里海づくり								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析) 大村湾及び諫早湾干拓調整池の水質対策については、地域住民や市町と連携して、生活排水対策や下水道の整備、工場排水対策等、流域から流入する負荷削減対策を進めている。 しかしながら、令和2年度の大村湾の水質は未達成であり、大雨による流域からの負荷流入などさまざまな要因が考えられる。 また、諫早湾干拓調整池の水質は未達成であり、流域からの汚濁負荷や調整池からの巻き上げ、水温の上昇による植物プランクトンの増大などさまざまな要因が考えられる。	
	大村湾の水質 (COD※75%値平均) ※COD(化学的酸素要求量)の略。海域、湖沼の水の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す指標。	目標値①	/	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L		2.0mg/L (R7)
		実績値②	2.0mg/L (R元)	/	/	/	/	/		進捗状況
		達成率②/①	/	/	/	/	/	/		—
	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)		
	諫早湾干拓調整池の水質 (COD 75%値平均)	目標値①	/	—	—	—	—	5.0mg/L		5.0mg/L (R7)
	実績値②	8.6mg/L (R元)	/	/	/	/	/	進捗状況		
	達成率②/①	/	/	/	/	/	/	—		

2. 令和2年度取組実績(令和3年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和2年度事業の実施状況 (令和3年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和2年度事業の成果等
				R元実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R元目標	R元実績	達成率	
				R2実績					R2目標	R2実績		
				R3計画	R3目標							
事業実施の根拠法令条項				事業実施の根拠法令条項								
事業期間				法令による事業実施の義務付け	県の裁量余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)						
所管課(室)名				事業対象								
取組項目 i	○	1	「いさかん」水辺の保全と活用加速化プロジェクト事業	1,108	938	7,954	諫早湾干拓調整池の水辺環境の保全と創造を図るため、諫早湾干拓調整池中央干陸地における利活用に係る基礎調査などを実施した。	【活動指標】	4	3	75%	●事業の成果 ・中央干陸地で事業者によるヨシの刈り取りが行われた。
				54	54	7,829		ヨシの刈り取り面積(ha)	4	3	75%	
				1,921	1,168	7,853			4	/	/	
			R元-3									
地域環境課					諫早湾干拓調整池	【成果指標】 諫早湾干拓調整池の水質(COD75%値平均)(mg/L)	5.0	8.3	0%			

取組項目 ii	○	2	みらいにつなぐ大村湾事業	8,291	5,967	7,954	大村湾の環境改善や沿岸を含む地域活性化を図るため、造成済みの浅場を活用した環境学習、関係団体と連携した大村湾内の浮遊ごみの除去などを実施した。	【活動指標】	2	2	100%	●事業の成果 ・造成済みの浅場を活用した小学生親子を対象とする大村湾体験活動を通じて、水質保全の必要性に関する啓発等を行った。なお、生き物調査については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施できなかった。
				6,358	5,114	7,829		大村湾体験活動実施回数(回)	2	1	50%	
				5,844	4,367	7,853		【成果指標】	2.0	2.0	100%	
			R元-3	—				大村湾の水質(COD 75%値平均)(mg/L)	2.0	2.3	40%	
			地域環境課	—	—	—	大村湾流域					
取組項目 i	○	3	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業	2,280	221	6,363	「第2期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」(R元8月から「第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画」へ移行)を推進するため、各種事業の進捗管理や各種イベント等へ参加予定していたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から各種イベントが中止となり、水質保全に関する啓発活動を行うことができなかった。	【活動指標】	3,000	3,400	113%	●事業の成果 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各種イベントが中止となり、イベントでの水質保全に関する啓発活動を行うことができなかったことから、窓口での啓発チラシ配布を行った。
				4,697	19	6,263		諫早湾干拓調整池水質(COD mg/L)	3,000	0	0%	
				5,174	359	6,282		【成果指標】	—	8.6	—	
			H25-	—				諫早湾干拓調整池の水質(COD mg/L)	5.0	8.3	0%	
				地域環境課	—	—	—	諫早湾干拓調整池				
	○	4	(企)大村湾南部流域下水道事業費(公共)	757,142	0	—	大村湾南部流域下水道事業については、下水道の普及が一定進んでいるので、水処理施設の高度処理化にウエイトを置いて事業を推進している。なお、事業の推進のためには、流域関連市との連携が必要であることから、議論を進めていく場として協議会を設けている。 令和2年度は大村湾南部浄化センターの水処理施設を高度処理化する工事を進めるとともに、ストックマネジメント計画に基づき、浄化センター内の中央監視装置の改築更新や耐震診断の結果、対策が必要とされた一部の幹線管渠の耐震化を行う工事の進捗を図った。	【活動指標】	5	5	100%	●事業の成果 ・高度処理化工事及び中央監視装置改築更新工事並びに幹線管渠耐震化工事の進捗を図り、中央監視装置については、改築更新を完了し、運転を開始した。
				358,148	0	—		協議会等開催回数(回)	5	5	100%	
				1,015,410	0	—		【成果指標】	100	100	100%	
				H5-R12	—			放流水質の遵守基準の達成率(%)	100	100	100%	
				水環境対策課	—	—	○	大村湾流域				
	○	5	諫早湾周辺地域環境保全型農業推進事業	7,807	0	—	諫早湾周辺地域において、肥料使用量削減等の環境保全型農業による現地実証を行い、環境に優しい農業の推進を図った。	【活動指標】	3	3	100%	●事業の成果 ブロッコリー、タマネギ等の減肥技術試験圃の設置、研修会における周知、啓発チラシの配布を行い、環境に優しい農業推進を図った。
				8,500	0	—		国、関係機関との事業打合せ(回)	3	3	100%	
8,500				0	—	【成果指標】		3	3	100%		
H25-R4				—				啓発活動等の実施(現地実証・研修会・チラシ作成)(回)	3	3	100%	
			諫早湾干拓課	—	○	—	諫早湾干拓調整池					

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善	<p>●実績の検証及び解決すべき課題 (大村湾関係) ・流域住民が日々の暮らしと大村湾のつながりを意識し、大村湾を宝の海として将来へ受け継いでいくためには、人々の親水意識の向上が不可欠である。 (諫早湾干拓調整池関係) ・水質保全目標を達成していない要因として、水温の上昇、流域からの生活排水や施肥・農薬使用に伴う面源由来の汚濁負荷など複数の要因が存在する。 ・行動計画に掲げる各種の対策を着実に実行する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 (大村湾関係) ・流域住民参加型で沿岸域の生き物調査を行い、大村湾における海域の生物調査マニュアルを作成していく。 (諫早湾干拓調整池関係) ・令和元年8月に策定した第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画に基づき、引き続き関係機関一体となって各種施策を進めていく。 ・行動計画に掲げる各種の対策を着実に実行するよう推進するとともに、追加対策についても検討を進めていく。</p>
---	-------------------	--	--

ii 大村湾周辺の里海づくり	
●実績の検証及び解決すべき課題 ・造成した浅場は、鳥やエイ等の捕食跡や二枚貝の幼生の生息が確認されており、生物の生息の場として今後も継続した維持管理を行う必要がある。	●課題解決に向けた方向性 ・造成した浅場の利活用及び維持・管理を、関係団体と協力し、流域住民を交えて実施していく。

4. 令和3年度見直し内容及び令和4年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名 事業期間 所管課(室)名	令和3年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和3年度の新たな取組は「R3新規」と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和4年度事業の実施に向けた方向性		
					事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	「いさかん」水辺の保全と活用加速化プロジェクト事業 R元-3 地域環境課	中央干陸地の生態系に配慮しながら、ヨシの適正管理・活用等の事業について、国や関係機関と連携して取り組む。	③⑤⑦	脱炭素社会の構築に貢献するとともに調整池の水質改善を目指し、再生可能エネルギーの導入可能性等について、関係機関と連携して検討するとともに、引き続き調整池・中央干陸地における環境学習を実施する。	終了
取組項目 ii	○	2	みらいにつなぐ大村湾事業 R元-3 地域環境課	流域住民参加型で沿岸域の生き物調査を行い、大村湾における生物調査マニュアル作成する。	③⑤⑦	大村湾の水質改善や大村湾周辺の里海づくりを推進するため、関係団体と連携し大村湾内の浮遊ごみの除去を実施するとともに、沿岸域生き物調査で得たデータを踏まえて作成する大村湾生物調査マニュアルについて、各市町が実施する環境学習への普及を進めていく。	終了
取組項目 i		3	諫早湾干拓調整池水辺空間づくり事業 H25- 地域環境課	諫早湾干拓調整池は、環境基準を超過しており水質改善に至っていない状況にあることから、効果的な調整池の水質改善対策について、関係機関と協議を進めていく。	③⑤⑦	諫早湾干拓調整池の水質改善のためには、関係機関が一体となって取り組む必要があり、第3期諫早湾干拓調整池水辺環境の保全と創造のための行動計画に掲げる各種の対策を推進するとともに、九州農政局等関係機関と連携して追加対策についても検討を進めていく。	改善

注:「2. 令和2年度取組実績」に記載している事業のうち、令和2年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点